

# 松江国道事務所管内 夢街道ルネサンス・日本風景街道意見交換会

H23.11.22

松江国道事務所管内において登録されている、夢街道ルネサンス3地区、日本風景街道2ルート of 更なる活動の発展を目的として、意見交換会を開催しました。(参加人数27名)

## 内 容

◇日 時 平成23年11月22日(火)14:30～17:00

◇場 所 島根県民会館第3多目的ホール

◇議 事 各団体からの活動内容報告

行政からの情報提供

自由討議(意見交換)

### ※参加者

#### 夢街道ルネサンス

○青石畳通り(青石畳通り活性化委員会、松江市)

○木綿街道(木綿街道振興会、出雲市)

#### 日本風景街道

○人間文化の原風景～ご縁をつなぐ神仏の通ひ路～(湖水街道推進会議)

○風待ち海道～隠岐まるごとミュージアム～(風待ち海道)

管内市町地域活性化関係者(大田市、飯南町)

#### 島根県

国土交通省中国地方整備局(地域道路課、浜田河川国道事務所、松江国道事務所)



意見交換会の様子

# 意見交換会の内容、意見 1

## 各団体の活動紹介

### ●青石畳通り

- まちづくりの取り組みは、S61年に実施された北前船の復元がきっかけ。
- 現在、空き家が多いが活性化させたい→まちかどギャラリーを実施。
- 町の中に財産がある。美保関に、ほっとする場所を作りたい。

### ●木綿街道

- 新聞報道された、福島へ行灯を送った件は、元は福島の方から求められて始めたもの。木綿街道の活動(行灯づくり)が、行灯を必要としていた被災地の役に立った。
- イベント等を本当に行っても良いのかという疑念の中での取り組みであったが、結果的に、こちらも力を得たし、被災地の力にもなったと感じている。地域間交流の大切さ、重要性を感じた。

### ●人間文化の原風景

- 今年度、パンフレットの作成を行っている。
- 道の駅「湯の川」の風景街道ブースは非常に人気があり、1年間に1万枚のパンフレットの配布が出来た。ただし、管理に手間がかかることが課題。
- H23.7に松江高専で風景街道の取り組みについて講義し、学生より風景街道に対する提案プレゼンを受けた。

### ●風待ち海道

- 今の隠岐の島の取り組みは、H14の夢街道ルネサンスへの登録がきっかけである。
- 現在世界ジオパークの認定に向けた活動を実施中。H24年10月の認定を目指して今年12月に世界ジオパーク委員会へ申請書を提出する。
- 8月に宮城県女川町の小中学性19名と隠岐の小中学生50名が交流事業を実施。風待ち街道もシーカヤック体験等の交流のサポートを行った。



活動内容報告

## 意見交換会の内容、意見 2

### 自由意見

#### ●広報の工夫

- フェイスブック等のソーシャルメディアの活用。
- 情報提供した観光協会や新聞社等へフォローアップをまめに行う事が重要。それにより取材の申込み等も出てくる。
- 雑誌に載ると反応が早い。執筆依頼や賞の応募をすると、全国に発信され、広報になる。
- 実際に歩いて回ってユーザーの意見を聞くことも大切。

#### ●その他意見

- 地区として、受け入れ体制が出来ていない。内輪で話ただけではダメ。第三者のチェックが必要。
- 町づくりを考えたとき、目的地になるような町づくりをしていくことが大切。
- ないもの探しではなく、あるもの探しをすること、地域への愛着を持つことが重要である。
- 日本の神話の場所(点)を、道路(線)でつなぐと立派なルートが出来るのではないか。ラインでつなぐとおもしろいと思われる。連携にもつながる。
- 道路の機能は、文化交流の観点からも重要。



今回は、第1回目でしたが、各地区の取り組み状況や工夫している点など、時間いっぱいを使っての議論となりました。次回は、管内だけでなく県境等を超えた範囲での開催も検討していくことを提案し、閉会しました。